

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38350
事業名	保育人材確保緊急対策費					
評価担当課	所 属	子)子育て支援 保育推進課			電話番号	011-211-2346
施策名	多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌圏における保育士の有効求人倍率が2. 21倍(令和6年1月時点)と、依然として保育人材不足が続いており、保育人材の確保や離職防止に向けて継続的に取り組む必要がある。
	事業内容(何を実施し)	①-1「保育支援者配置補助事業(本体部分)」により、保育士資格を有しない保育支援者の経費(1時間当たり450円、1事業所上限月10万円)を補助する。 ①-2「保育支援者配置補助事業(スポット支援員)」により、登園時の繁忙時間帯やプール活動などの一部の時間帯に「スポット支援員」を配置するための経費(1事業所上限月4.5万円)を補助する。 ②-1「保育人材確保に向けた一時金給付事業」により、就業年数3年、6年、9年継続した保育士等に対し、給付金10万円を支給する。 ②-2「就職支度手当補助事業」により、新規に就労した保育士等への施設が支給する「就職支度手当」について補助(上限5万円、補助率1/2)を行う。 ③「潜在保育士短時間就労支援補助事業」により、潜在保育士の再就職に係る経費(1時間当たり170円、1事業所上限月2万円)を補助する。 ④「保育人材イメージアップ事業」を実施し、中高生及び保護者等を対象中高生及び保護者等を対象として広報活動を行い、保育職のイメージを向上させ、保育職を目指す次世代の人材を増やしていく。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	保育士人材確保施策により、令和9年度まで毎年500人、合計2,500人の保育士等の就労支援を行う。
	他都市の状況	■保育支援者配置補助(大阪市等)、■保育人材確保に向けた一時金給付(【類似】神戸市等)、■潜在保育士短時間就労支援補助、■保育人材イメージアップ(川崎市・広島市等)
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ■ 対象外

令和4年度決算額	284,302 千円	うち特定財源	76,605 千円	正規職員業務量	0.4 人
令和5年度予算額	397,000 千円	うち特定財源	143,685 千円	正規職員業務量	0 人
令和5年度決算額	332,390 千円	うち特定財源	127,976 千円	正規職員業務量	0 人
令和6年度予算額	423,000 千円	うち特定財源	145,191 千円	正規職員業務量	0 人

指標	アウトプット活動指標1	保育士人材確保支援により就労する保育士等の数/年			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		687	500	919	950	950	950
	↓						
	アウトカム成果指標1				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	補助事業の追加(スポット支援員)や保育人材支援センターさぼ笑みの採用者数増により、計画を上回った。					
	アウトプット活動指標2	保育人材確保補助金の支給率			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			85	83.9	86	87	88
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度から補助事業(スポット支援員)を開始したが、事業周知や園の準備等の時間が不足し、当初想定より申請が少なかった。令和6年度以降は改善される見込み。					

今年度の見直し内容	保育人材イメージアップ事業の保育士イメージ調査費用の見直しを実施した。
来年度以降の方向性	新設した「就職支度手当補助事業」の支給率を踏まえて、次年度以降の事業規模・改善方法を検討する。